

平成20年9月30日

南海電気鉄道株式会社

南海電鉄 エコロゴマークの制定と エコポイントの導入について

南海電鉄(社長: 巨 信二)では、今年度を初年度とする新3か年経営計画「堅進126計画」を策定し、その基本方針のひとつに「『環境保全』のための取組み強化」を掲げています。

これまで、その実行策として、チャリティゴルフイベントや福岡ソフトバンクホークスチャリティオークションの収益金を「大阪府みどりの基金(共生の森づくり基金)」へ全額寄付するなど、積極的に環境保全活動を行ってきました。

そしてこのたび、当社の環境推進活動のシンボルとして「エコロゴマーク」を制定するとともに、植林活動を行っている団体などへ寄付するための「エコポイント」を導入します。今後、これらを活用しながら、環境保全活動への取組みをさらに進めていきます。

詳細は別紙のとおりです。



南海電鉄エコロゴマーク

< 別紙 >

1. エコロゴマークについて

(1) 名称

エコモーションなんかい

(2) 意味

環境保全の「エコ」と、当社・お客さま・地域社会が一体となって活動する「モーション」を組み合わせた造語です。これに、活動の推進役を担う当社を例えた「機関車(ロコモティブ)」の意味を加え、活発でつながりのある環境活動をイメージしました。

(3) デザインコンセプト

当社が取り組んでいる植林活動など「エコ」を象徴する、緑の葉をモチーフにデザインしました。車両とその運転士をイメージしたキャラクターで、自然とともに走り続ける姿を表現しています。

(4) 今後の展開

今後、当社の広報ポスターやホームページなどで使用します。

2. エコポイントの導入について

(1) 実施日

平成20年10月から(10月4日土曜日からポイント計上開始)

(2) 内容

お客さまが土・休日に minapita(PiTaPa)カード(南海電鉄の PiTaPa カード)もしくは KANKU CLUB カード(関西国際空港の PiTaPa カード)を利用して、南海難波駅または南海関西空港駅で乗車または降車すると、1回につき3ポイントを当社が「エコポイント」として計上します。一定量が貯まった時点で、1ポイントにつき1円(予定)に換算し、当社沿線エリアで植林活動を行っている団体への寄付をはじめとして、さまざまな環境活動に使用します。

計上ポイント総数や寄付の方法などについては、一定期間ごとにホームページやポスターなどで報告します。

「エコポイント」は、お客さまに対してポイントを付与するものではなく、ほかのポイントとの互換性はありません。

お客さまには、従来どおり「minapita ポイント」が「土休日ポイント」として1回につき5ポイント貯まります。

他社の PiTaPa カードをご利用の場合は、エコポイントは計上されません。

(3) 導入のねらい

お客さまに、環境に優しい乗り物である電車を利用して土・休日に難波駅や関西空港駅にお出かけいただくことで、身近なところからエコ活動へ協力できることをアピールするのが目的です。ご協力いただいた回数分に応じて当社が環境活動に使用する仕組みですので、お客さまにとっては、負担なく手軽にエコ活動に貢献していただけます。

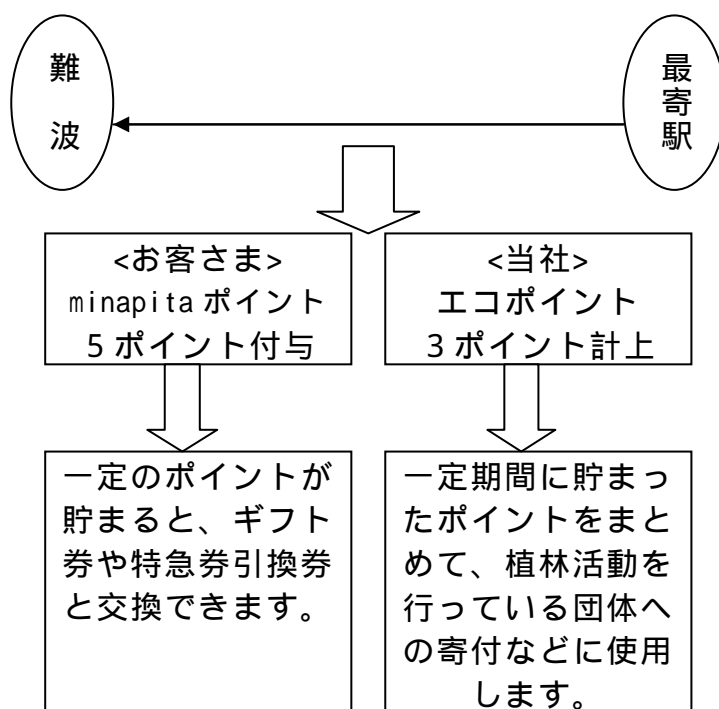
(4) 計上されるポイント

1回につき3ポイント

お客さまお1人あたり、1日最大12ポイント

(難波駅、関西空港駅でそれぞれ乗車・降車の場合)

(例) お客さまが土曜日に最寄駅から難波駅まで minapita(PiTaPa)で片道ご利用の場合



3. これまでに実施した環境に対する主な取り組み

泉佐野駅に太陽光発電パネルを設置

護摩壇山（奈良県十津川村）の「なんかいの森」で森林保全活動

なんばパークスに大規模な屋上緑化施設（パークスガーデン）を整備

株主優待の「6回乗車カード」を「大阪府みどりの基金（共生の森づくり基金）」への寄付に充当できる制度を制定

大阪ゴルフクラブでチャリティゴルフ大会を開催、また、福岡ソフトバンクホークスと共同でホークスチャリティオークションを実施。両イベントの収益金を全額、「大阪府みどりの基金（共生の森づくり基金）」に寄付 など

4. 今後予定している取り組み

堺まつり（10/18・19）、南海電車まつり（10/25）にブースを出展し、当社のこれまでのエコ活動をパネルで紹介

護摩壇山植林活動「なんかいの森づくり推進活動」の実施

「環境社会報告書 2008」の発行 など

以上